

# 教育情報ネットワーク各種システム構築業務(学校教育ICT化推進事業)

教育情報ネットワーク上で運用している各種システムのうち、職員が作成した内製システムを外注化することにより、安定して運用できるようにする。これらのシステムは研修等の申し込み、各種の報告など学校園が日々活用しており、トラブルが発生すると、混乱が生じる。あわせてシステムの外注化により現システムをブラッシュアップし、学校園の事務負担軽減をめざす。

## Web受付総合ポータル

**研修等申込システム**

- 参加申込みを電子化（各教職員が申込、管理職が承認）
- 抽選結果（参加可否）も、即座にWebで確認可能
- 研修当日は、職員証を通して出席を記録し、簡単に集計可能

- ▶ 紙媒体のやりとりが激減し、処理作業が軽減
- ▶ 迅速な処理が可能
- ▶ 参加者や参加履歴などが簡単に把握可能

**初任者研修報告システム**

- 実施計画と記録をWeb上で入力し、管理職により承認（詳細な内容等は別途紙媒体の「研修ノート」に記録し提出）
- 管理職及び教育委員会により、計画及び記録がリアルタイムに確認可能

- ▶ 研修の進捗状況が、管理職、指導教員、専門指導員などの複数により、リアルタイムに確認可能（法定）

**適応指導教室入室状況報告システム**

- 日々の通室状況と登校状況を電子化（適応指導教室職員と各学校教職員の双方がそれぞれ入力）
- ほぼ当日のうちに通室状況及び登校状況の共有が可能

- ▶ 電話や家庭訪問など、個別対応時に共有した情報を利用して対応可能
- ▶ 適応、学校の双方で、それぞれの状況をほぼ当日中に把握することが可能

**指導主事講師派遣申込システム**

- 指導主事への校園内研修講師等の依頼をWebで申請(教育委員会全体で確認可能)
- 校園内研修における協議会内容の記録を入力することで蓄積及び共有が可能

- ▶ 校園内研修を充実し、学校力を高めることで、子どもの学力向上をはかる

**教育情報ネットワーク機器等不調連絡システム**

- ▶▶ 迅速な対応が可能

**機器・ソフトウェア管理システム**

- ▶▶ 適切な管理が可能

**デジタル教材ポータルシステム**

- ▶▶ 使いやすさ向上により利用促進をはかる

R1 24,000千円(単年度委託)  
昨年度予算要求額